

新連載  
しょうぼう  
**消防も…の人**  
ひと

消防団員＝発災時に市民を守る使命を  
帯びた隣人(りんじん)



みやざわ ともかず  
**宮澤 友和** さん

消防団本部 部長・第4方面隊長  
(消防団歴 15年、三ツ谷新田在住)

入団したのは地元の第13分団でした。坂地区独特の地域性もあり、声が掛かった時に、自然と入団しました。

サッカーが好きで、専門学校時代にはフットサルの全国大会での優勝も経験しました。今も、家業として箱根西麓<sup>せいりゅう</sup>で野菜を生産するかたわら、多いときには週2回、2つのフットサルチームで汗を流し、また、シニアのサッカーチームにも所属しています。縁があって、伊豆からJリーグを目指す「SS伊豆」というサッカーチームや「みしまびとプロジェクト」の活動にも携わっています。仕事と趣味と地域活動で忙しい毎日ですが、もはや消防団は生活の一部になっています。

消防団は、有事の際には絶対に必要で“誰かがやらなきゃいけない”ものなので、愛する郷土のために続けています。

Mishima 広報みしま 2.15  
COVER PHOTO

表紙

市の認知症予防「わははの会」の様子です。市障がい者応援大使めんぼーくんと笑って動いて楽しく過ごす、皆さんの笑顔はとても輝いていました。いつまでも笑って過ごしたいですね。



CONTENTS

目次

- 2 消防も…の人
- 3 三島駅南口広域観光交流拠点整備事業  
東急電鉄と基本協定を締結
- 4 介護予防・日常生活支援総合  
事業が始まります
- 6 Mトピ 臨時福祉給付金（経済  
対策分）のお知らせ／農業委  
員と農地利用最適化推進委員  
を募集します／年金受給に必  
要な期間が「25年から10年」  
に／図書館からのお知らせ
- 8 インフォメーション（みしま  
情報便）
- 12 いきいき健康
- 13 ガーデンシティみしま
- 14 きずながつくる協働の取り組  
み
- 16 冬の楽寿園へお出かけくださ  
い

# 東急電鉄と基本協定を締結

湧水の保全にも配慮した  
「三島の継承と発展の拠点」

広報みしま1月1日号でお知らせした三島駅南口（伊豆箱根鉄道駅舎側）の開発事業について、最優秀提案者の東京急行電鉄（株）東急ホテルズ（共同事業者）と基本協定を締結しました。これにより、両社が正式な事業者として開発に着手することになりました。

基本協定では、このホテルを核とした魅力ある広域観光交流拠点の整備を、豊かな地域資源を生かした「三島の継承と発展の拠点」とするため、湧水の保全に配慮した建築計画とすることや、三島の魅力を情報発信する取り組みなどを確認しました。

園管財課（0833・26233）



**1**月31日（火）、市長応接室で基本協定の締結式を行いました。協定書には、事業の概略基本計画に基づき、実現に向け相互に協力して取り組むことを明記しました。

ホテル開業までのスケジュールは、本年中に土地売買契約を締結し、観光案内所の解体工事などを経て2020年4月の開業を目指す予定です。



▲基本協定は三島市、三島市土地開発公社、東京急行電鉄（株）東急ホテルズの4者で締結



（ホテル開業後のイメージ）

## 市長のコメント

長年の懸案事項であった三島駅南口西側の開発事業者が決定し、大変嬉しく、期待に夢が膨らむ思いです。

協定締結に伴う概略基本計画を見ますと、三島の街並みや自然と調和する素晴らしいデザインとなつていきます。また、知名度と実績が高く、しっかりとした経営基盤を持つ東急ホテルズが三島に進出することとなり、品格ある上質なシティホテルの誕生を期待しています。さらに、鉄道やホテルの経営ノウハウ、ネットワークなど、東急グループの総合力を生かした全国への情報発信や、楽寿園でのイベントへの協力など、観光振興にさらなる効果が発揮されるものと考えております。

地元と連携するなかで魅力ある駅前空間が創出されることを楽しみに、2020年の建物完成を待ちたいと思います。

三島市長 豊岡武士